

S O S!

災害から
のがれる!

防災

Book



柏小学校 6年1組



福田 莉生



目次



○きっかけ○調べ方...P3

○まず最初に...P4

～調べたこと～

part 1。災害の種類やしぐみ...P5~7

part 2。災害を防ぐためには...P8

part 3。家族で、できる“防災”...P9.10

part 4。災害時に役立つこと...P11

～まとめ・参考文献～

○まとめ・感想...P12

○参考文献...P13.14

体験！ ～平成28年度前期・えにわっ子ジュニアセミナー
において～

講話「自分を守るために知っておこう！」



自分を守る時、どうすれば
よいのか教わりました！

いろいろなロープでの
結び方を教わりました！

ロープワーク（陸上自衛隊南恵庭駐屯地）



言周べるきっかけ💡

最近では北海道で地震があったり、大雨で土石崩れなどの警戒情報など災害に関わることが多いです。なので、いつくるかわからない災害を防ぐにはどうするかなど“防災”について考えようと思ったからです。

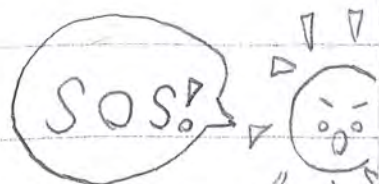
言周べ方📖

- ① 学校の図書室
- ② 本
- ③ インターネット
- ④ 体験する。



言周べること(構成)

- ① 災害の種類やしきみ
- ② 災害を防ぐためには
- ③ 家族でできる“防災”
- ④ 災害時に役立つこと
- ① 避難時に役立つこと
- ② 非常用品・服装など



まず最初に...!!

災害 & 防災の意味を知ろう!

① 災害 → 台風・地震などのわざわい

災害といっても2つの災害にわかれています↓

○ 人災 (人のミスによる)

大きな火災・交通機関の事故 など

○ 自然災害 (自然におこる災害のこと)

風水害・噴火・地震・津波 など

防災 ⇒ 災害を防ぐ

今回私が言及するのは、

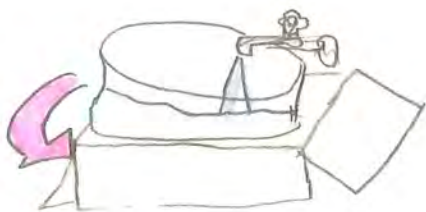
“自然災害”です!

防災 Book 📖 豆知識 ♪ ~~~~~

いざという時に!

家にあるもので、災害時に役立つものを紹介します。ほかにも使えそうなものを考えてみましょう!!

水を運ぶときに ○ ごみぶくろ



段ボール箱などの容器
にぶくろをかぶせて水を
はこべます!

調べること
part 1

災害の種類

やしきみ



調べること Part 1

課題 災害の種類やしくみを知ろう!

調べる災害

- ①地震 ②津波 ③噴火 ④洪水
- ⑤土石災害 ⑥豪雪(雪害)

①地震 日本は地震大国! ぶたんから備えよう!

地震はなぜおこるのか?

地球の表面は「プレート」という、何枚もの厚い岩でおおわれています。

プレートは少しずつうごいていてその引っ張り合いなどのエネルギーがたまると、地震が起きます。太平洋のプレートが陸の下に、もぐりこんでいる日本列島では、むかしからたくさん大きな地震がありました。なので、いつ地震がくるかわからないので日ごろから防災などの備えをしておきましょう!

震度0

人はゆれを感じないが、地震計には記録される。

震度をゆめ方

震度1

屋内で静かにしている人のなかには、ゆれをわずかに感じる人がいる。

震度2

屋内で静かにしている人の大半が、ゆれを感じる。

震度3

屋内にいる人のほとんどが、ゆれを感じる。

震度4

ほとんどの人がおどろく程度のゆれ。

震度5弱

ほとんどの人が恐怖を感じ、ものにつかまりたくなる。

震度5強

ものにつかまらないうと、歩くことがむずかしい。

震度6弱

立っていることがむずかしい。

震度6強

はわないと動くことができず、ゆれでとばされることもある。

震度7

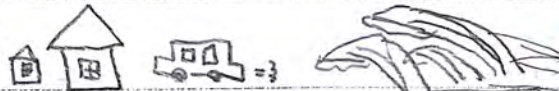
耐震性の低い建物がたおれるおそれがある。

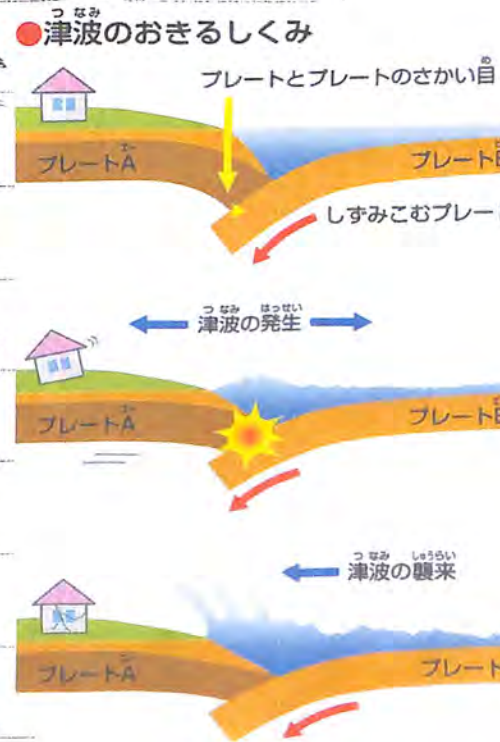


震度7で石づくりの壁がくずれた感。

② 津波は海底でなにがおきているの!? ~~~~~

津波は強い地震によって、海底が急激にもり上がったりと、しずんだりすることでおきます。海底面が上下に動くと、まわりの海水も上下に動かし、その動きが海底に伝わり、大きな波を発生させます。津波がきたら、すみやかに高台に避難しよう!

(安全な場所に) 



③ 噴火はすみやかに避難せよ! ~~~~~

噴火とは、火山からマグマや火山灰などが、噴き出すことです。火山活動の一つで、マグマの性質によって規模や様式にさまざまなものがあります。気象庁では火口から固形物が水平、あるいは垂直距離でおよそ100〜300m範囲を越したものを噴火として記録することになっています。

④ 洪水はひどくなる前に安全な場所へ! ~~~~~

大雨やゆう雪などを原因をして、河川の流量が異常に増加することによって堤防の浸食や決壊、橋の流出等がおこる災害を洪水害とします。一時的には堤防の決壊や河川の水が堤防をこえたりすることにおこる氾濫を洪水とよんでいます。

⑤ 土石災害 (土石崩れ)

大雨や地震にともなう土石流、地すべり、斜面崩壊 (かけ崩れ、土石崩れ) また火山の噴火に伴う溶岩流、火砕流、火山泥流などの災害のこと。

{ 土石災害で注意すること }

① 山から泥水が出る。② 泥の匂いがかかる。

③ 小石がおちてくる。④ 地面の中でごろごろ音がする。

⑥ 豪雪 (雪害)

豪雪とは雪による雪害のうち、程度の著しいものをよびます。大雪の類義語でもあります。降雪量や積雪量による定義は存在せず、災害の程度が著しい場合に気象災害名としても用いられます。(北海道の冬には要注意!!)

豪雪による影響  ~~~~~

○ 春になって雪解けが進み川の水がふえて、川が氾濫になるかも...

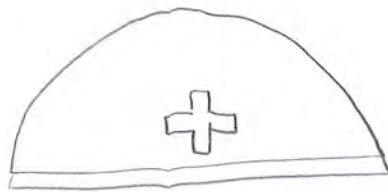
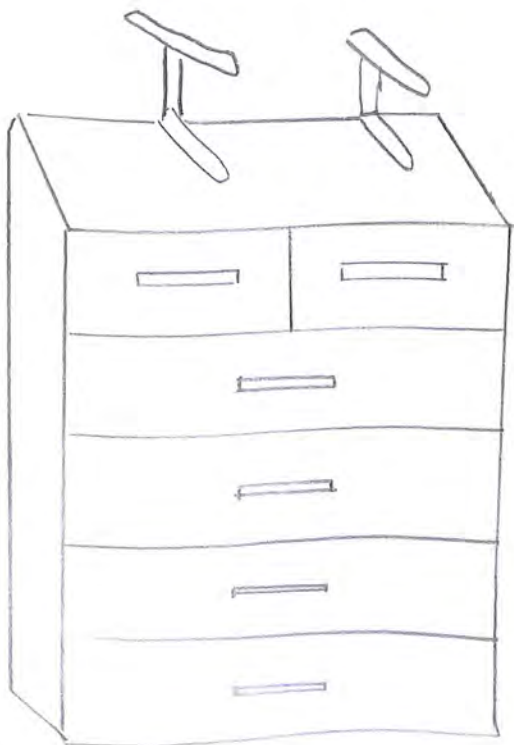
○ 高齢者などが雪をやねからおろす際の事故。(転倒・落下など) なので、2人以上で雪おろしなどをしましょう!!

言周へること

Part 2

災害を

防ぐために



調べること Part 2! ~~~~~

課題「Part 1」の災害を防ぐには
どうすればよいか. 考えよう!

風水害 (つ) ◎保安林

◎治水構造物の設置

地震・噴火

◎建物・建築物の

たいしん化

雪害 (つ) SOS!



◎保安林を置く

土石災害 ~身を守るためのポイント!

◎住んでいる場所が「土石災害危険
箇所」かどうか確認にする!

◎雨がふり出したら「土石災害警
戒情報」に注意する!

◎「土石災害警戒情報」が発表
されたら早めにひなんする!

{特に お年寄りや 障害のある人
などを ゆうせんして、助けをあ
げたり、+カカしましゅ!}

言周べること

Part 3

家族で
できる防災



調べること part 3

課題 家族防災会議を開こう!

家族で備える① ~ 家族でできる防災 ~~~~~

◎ 家族一人ひとりの役割り分担を決めよう。

・日常的な防災の役割と、災害が起こった時の役割を決めておきましょう!

◎ 家の危険箇所をチェック!

・家の内外をチェックし、もしあった場合は、修理や補強について話し合きましょう!

◎ 家具の安全な配置と転倒防止対策を!

・家具の配置替えや、転倒・落下を防ぐ対策をしましょう!

◎ 非常持出品や非常備蓄品をチェック!!

・必要なものをそろえ、定期的に保管状態や使用期限を点検しましょう!

◎ 災害時の連絡方法や避難場所を確に!

・家族が離ればなれになった時の連絡方法や地域の避難場所を確にしましょう!

家族で備える②

わが家の風水害・地震対策(家の外中)

① 風水害

◎ 屋根

トタンなどのめくれ、

はがれを点検し、テレビ

アンテナをしっかりと

固定する。

◎ ベランダ

鉢植えや物干し竿

など、飛散の危険

が高い物は、屋内に

片づける。

◎ 窓ガラス

ひび割れ、窓枠のが

たつきがないか確認する。

◎ 外壁など

きれつなど危険な箇所

を修復する。

② 地震 わが家の安全対策?

地震が発生した時、被害を最小限に抑えるための


ちょっとした工夫4つ 

① 窓ガラスの飛散や高い戸からの落下を防ぐ!

② 家具の転倒・落下防止対策をしましょう!

③ 寝室や人の出入りが多い部屋には大きな家具を置かないようにしましょう!

④ 避難通路を確保しておこう!

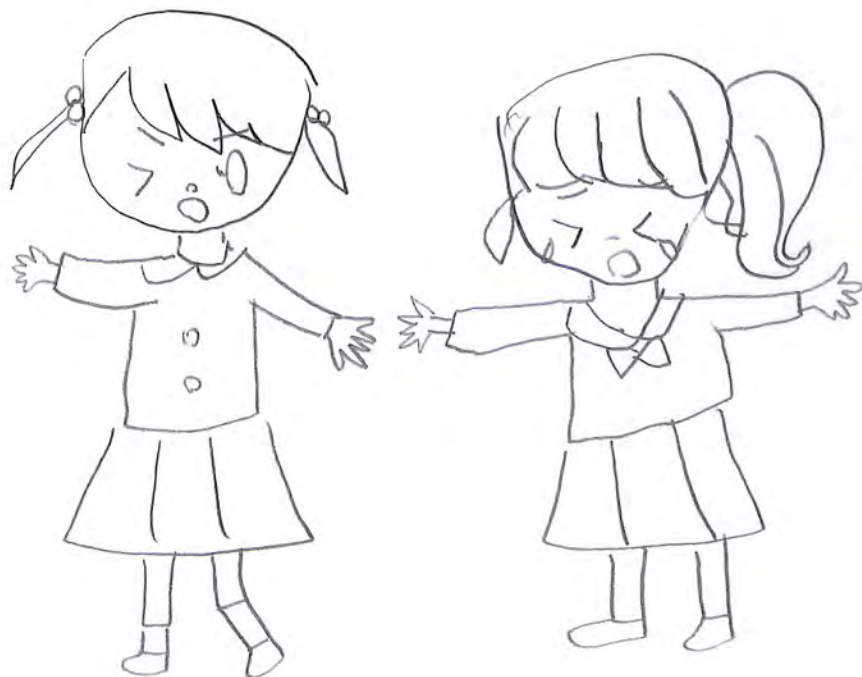
い家族で災害に備えよう! 


言周べること

Part 4

災害時に

役立つこと



調べること Part 4 

課題 災害時に役立つことを考えてみよう!

ケータイ電話が使えなくても連絡各を 非常時・連絡メモ!

◎ 家族のケータイ番号、親の会社の番号

◎ 災害用伝言ダイヤル... 171

{インターネット 災害用伝言板 web171}

災害時の避難の注意}}}} 4つ ★ {{{{{{

① 非常用品を持っていこう!

○両手が使えるように、リュックなどを利用すると!

○絶対にいる物だけを持ち、ふたんから用意!!

② 歩いて避難を!

○必ず2人以上で手をつないで歩こう!



○危険な所には近づかずに自分の安全を確かめ

ながら、避難しよう!

③ 避難する時の服装

○ヘルメットをかぶったり暖かく動きやすい服!

○火災の時はマスクやゴーグルタオルを用意!!

④ 近所で声をかけ合おう!!  

○大きな災害では、家族や近所の人との協力が

必要なので、ふたんからお付き合いを大事にしよう!

まとめ・感想

いまとめい



Part 1

いろいろな災害の意味を調べ、しくみなどわかりました。

Part 2


Part 1で調べた「災害を防ぐためには、市町村や地域での力が必要」。

Part 3

家族で備えて協力しておくと、災害がおこった時に被害があまりおよばない。

Part 4

災害時のポイントなどをもちに、覚えておこう。

感想 


私は「防災」について調べました。最近では日本各地で災害が多いため、いつきても大じょうぶのような、この調べ学習を通して非常用品の見直しや避難所の確にんなどいろいろと備えたいです。あと、家族と協力して進めていきたいです。

参考文南犬



3.11が教えてくれた
防災の本

- ① 地震 (柏小学校)
- ② 津波 (図書室)

インターネット 

ウィキペディアフリー百科事典

(土砂災害、豪雪、噴火、津波、災害)

<https://ja.wikipedia.org>

キッズgooしらべもの1-ト(地震)

kids.goo.ne.jp/

あしたのくらしをわかりやすく

〜政府広報オンライン〜

www.gov-online.go.jp

自然災害対策〜国土交通省〜

www.mlit.go.jp/

気象庁

www.jma.go.jp/



参考文献2

体験「防災」

平成28年度前期・えにゅ、子ジュニアセミナー

◎千歳市 防災学習交流センター「そなえ-る」

住所〒066-0075 : 千歳市北信濃631-11

～非常用品のしょうかい (SOS)

～いざという時に②

家にあるもので、災害時に役立つものを紹介します。ほかにも使えようなものを考えてみましょう!!

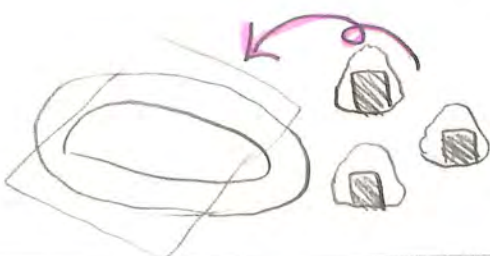
④ラップ フィルム

～寒い時に



新聞紙を体に巻いた上にラップをまくと、保温ができます。体があたたまります。

水道が出ない時に



かぶせて使えば食品を洗わなくてすみ、エコでとてもいいです。